

一般会計
補正予算規模
(①～⑥の計) 17.1億円

令和8年度9月補正予算のあらまし

- ① 物価高やエネルギー高騰に直面している事業者への支援
- ② 台風第6号被害に伴う災害復旧事業
- ③ みえのクマ緊急対応チーム(M-B E S T)の編成
- ④ 令和8年熊本地震に伴う被災地支援
- ⑤ ペロブスカイト太陽電池等の次世代型太陽電池 導入・利用促進
- ⑥ カスタマーハラスメント防止対策

① 物価高やエネルギー高騰に直面している事業者への支援 (1,086百万円)

事業者	9月補正予算上の主な対応
医療・介護・福祉分野	●病院、薬局等に対する支援(食材費、電気・ガス料金) 322百万円 ●高齢者施設に対する支援(食材費、電気・ガス料金)443百万円 ●社会福祉施設等(児童入所施設、障害者支援施設等)に対する支援(食材費、電気・ガス料金) 215百万円
子ども・教育分野	●私立学校等に対する支援(食材費、電気・ガス料金) 31百万円 ●県立学校における給食の食材費高騰への支援 6百万円
農林水産分野	●農業水利施設の省エネルギー化に取り組む施設管理者に対する支援(灯油、軽油、重油、電気料金) 13百万円
交通事業者	●交通事業者である鉄道・バス・航路事業者への燃料費高騰分の支援(軽油、重油、電気料金) 27百万円

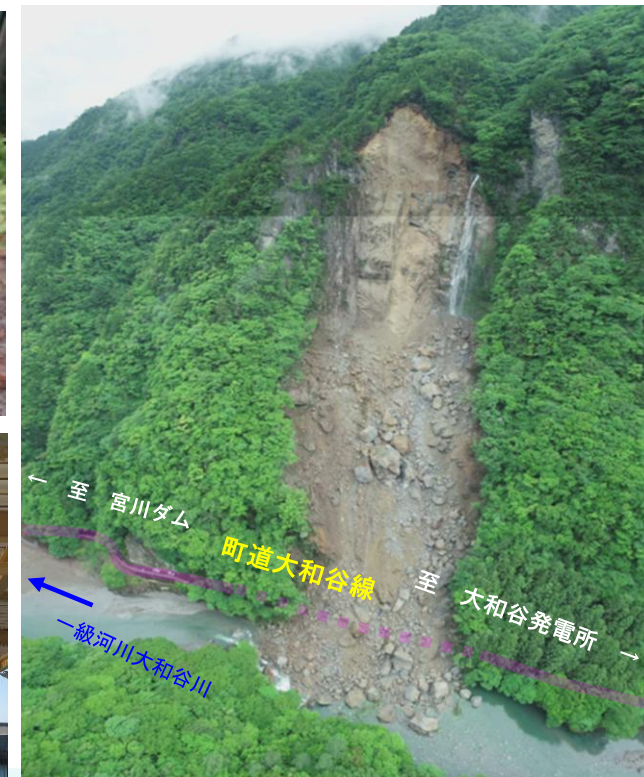


② 台風第6号被害に伴う災害復旧事業（461百万円）

●台風第6号による被害を受けた治山施設、漁港・海岸等、道路・河川の早期復旧を実施

(1) 治山施設（244百万円）

- 保安林管理道復旧／松阪市・尾鷲市（2箇所）
 - ・崩落した道路法面の復旧（松阪市） 面積 約2,200㎡
 - ・崩落した路体の復旧（尾鷲市） 延長 約46m



(2) 漁港・海岸等（62百万円）

- 漁港施設復旧・漂着流木処理／神島漁港ほか（5箇所）
 - 作業棟屋根張替え／栽培漁業センター（志摩市）
 - ・流出した灯浮標等の復旧（宿田曾漁港、深谷漁港）
- 主な復旧施設**
- ・破損した防暑雨施設の復旧（神島漁港）
 - ・漂着流木の除去（奈屋浦漁港、豊北漁港海岸）

(3) 道路（受託事業）（155百万円）

- 町道大和谷線（大台町）・一級河川大和谷川（三重県）の災害復旧
大規模な法面崩落の発生（幅約100m・高さ約240m・崩土約68,000㎡）
町道大和谷線が通行不能、一級河川大和谷川の河道が一部埋塞、
中部電力大和谷発電所の通信線が断線し発電停止中

人的被害なし
孤立地域なし

大台町から委託を受け、県が河川・道路の復旧を一体的に推進

- 対応方針**
- ・大規模な法面崩落と厳しい地形制約条件のため、設計施工等には幅広い知識と高度な技術が必要
 - ・まずは**調査設計**を実施。その後、復旧工法を選定し、災害査定を受けた上で災害復旧工事を早急実施

③ みえのクマ緊急対応チーム【M-BEST:Mie Bear Emergency Shooting Team】の編成（3百万円）

- ツキノワグマによる人身被害を防止するため、「みえのクマ緊急対応チーム(M-BEST)」を編成し、県内全域でクマの捕獲体制を構築



体制整備

- ・ チーム員の知識や技術の向上を図るため、経験者の意見をふまえた緊急対応の実地訓練を実施
- ・ 士気高揚を図るための一体感のある装具(腕章・バッジ)を作成

④ 令和8年熊本地震に伴う被災地支援（71百万円）

令和8年熊本地震の被害状況（8月24日（月）8時30分時点）

【人的被害】死者38名

【住居被害】全壊1,649棟、大規模半壊186棟、半壊2,096棟（現在判明分）

【避難状況】避難所数：65か所、避難者数：2,794名

【断水状況】4,050戸（8月21日（金）16時00分現在の数値）



罹災証明受付窓口
（宇城市）

9月補正予算上の対応

その他の対応（補正予算不要、対応済）

DPAT等の
専門人材も
派遣

- 被災地への派遣職員の活動に要する経費（68百万円）
全国知事会や厚生労働省等からの要請に基づき、
被災地への職員派遣に係る経費や活動に要する経費を計上
想定派遣人数：392名
主な支援：罹災証明書受付支援、避難所での健康支援、医療支援 等
- 県営住宅に入居された被災者への支援（4百万円）
被災者への支援として、県営住宅を提供するとともに、
電化製品や寝具等の貸し出しを行う。

- みえ災害ボランティア支援センターへの支援
- 三重県災害時学校支援チームの派遣
- 三重県警被災者支援部隊等の派遣
- 災害廃棄物処理支援員の派遣

⑤ ペロブスカイト太陽電池 導入・利用促進パッケージ 総額105百万円 (補正 72百万円)

ペロブスカイト太陽電池とは…



軽量・薄型・柔軟の特徴を有する

耐荷重の低い場所や曲面への設置を期待

三重県の取組

- 展示・イベントによる周知
- 県による率先した導入
- 開発・実証事業の実施

将来的な県内への
導入・利用を促進

① ペロブスカイト太陽電池の展示製作・PR (7百万円)

新



(若宮教授ご提供)

研究のトップランナー
同社 最高技術顧問
京都大 若宮教授のご協力
(度会町ご出身)

- ・ エネコートテクノロジーズ社製ペロブスカイト太陽電池の展示製作
- ・ 環境イベント(みえ環境フェア2026・12月開催)でのPR



みえ環境フェア2025

② ペロブスカイト太陽電池の県有施設への導入 (65百万円)

新



施工イメージ

(福岡市ご提供)

積水ソーラーフィルム社製ペロブスカイト太陽電池を鈴鹿庁舎に設置

発電出力:5kW 設置面積:約100m²

県有施設への「実装」は **東海地方初!**

発電した電気を
使用し県有施設の
脱炭素化を推進



③ その他R8当初予算事業 (33百万円)

- | | |
|---|---------------|
| (1) 環境学習情報センターにおけるペロブスカイト太陽電池を活用した展示製作 | (10百万円:環境共生局) |
| (2) 県有施設におけるペロブスカイト太陽電池設置に向けた設計委託費 | (8百万円:環境共生局) |
| (3) 県内企業と連携した次世代型太陽電池を利用した開発・実証事業(工業研究所での共同研究を含む) | (15百万円:雇用経済部) |

⑥ カスタマーハラスメント防止対策の推進（20百万円）

カスタマーハラスメント防止対策促進補助金

- 三重県カスタマーハラスメント防止条例に基づき、従業員が安心して働くことができる職場環境整備を促進するため、県内事業者による録画・録音環境の整備に係る費用を補助

新

刑法等の既存法令で対応できない
悪質なカスタハラ行為

特定カスタハラ行為が
確認可能な資料が必要



特定カスタハラと整理
防止手段として、条例に罰則を規定

補助制度の概要

対象者

県内の小規模事業者

補助率

1/2 上限 20万円
下限 5万円

対象経費

録画・録音機器の新規導入に要する費用
例 機器の購入費用、設置工事費用



既決予算 カスタマーハラスメント防止対策推進事業（19百万円）

事業者向け事業

経営層向け

セミナー

相談窓口

アドバイザー派遣

従業員向け

出前講座



周知啓発事業

シンポジウム

啓発ポスター・リーフレット

